



YOKOHAMA MUSEUM OF ART
30TH ANNIVERSARY
横浜美術館30周年

横浜美術館は 2019 年 11 月に開館 30 周年を迎えます 横浜美術館開館 30 周年記念事業のご案内



撮影：笠木靖之

1989 年（平成元年）に開館した横浜美術館は、2019 年 11 月 3 日（日・祝）に 30 周年を迎えます。

みなとみらい 21 地区最初の恒久施設として誕生した当館は、国際的な港町、横浜にふさわしい美術館として、発展し続けるみなとみらいの街とともに歩んでまいりました。

2019 年度の活動テーマは「美術でつなぐ人とみらい」です。

30 周年記念事業として、3 つの企画展や国際シンポジウム、独創的な記念誌の刊行、市民の皆さまに、制作に関わっていただいたワインやカレンダーなど、記念制作物の販売など、年間を通じて多様な取組を行います。

30 周年の節目を迎える横浜美術館の取組を、ぜひご取材・ご報道いただけましたら幸いです。

開館 30 周年記念事業ラインナップ ※詳細は別紙をご覧ください。

■ 開館 30 周年記念ロゴ

30 周年記念ロゴは、横浜美術館のロゴをデザインした、アートディレクターの浅葉克己氏によるものです。30 の文字に横浜美術館の基本方針「みる」「つくる」「まなぶ」を示した赤・緑・青の 3 色が配されています。

■ 企画展

2019 年度は開館 30 周年記念展として「Meet the Collection —アートと人と、美術館」（4/13～6/23）「原三溪の美術 伝説の大コレクション」（7/13～9/1）「オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した 12 人の画家たち」（9/21～1/13）の 3 つの企画展を開催します。

また今年度、展覧会開催中の金曜日・土曜日は、展覧会、ミュージアムショップ、カフェ（Café 小倉山）の営業を 20 時まで延長し、多様化する生活者のライフスタイルに対応します。

■ シンポジウム・イベント

海外の美術館関係者を招聘しての、専門家を対象とした国際シンポジウムを 6 月に開催します。また、開館記念日を迎える 11 月上旬には、市民の方々が気軽に参加できるイベントを実施する予定です。

■ 記念企画商品

独創的な記念誌、横浜美術館のコレクション作品がデザインされたワインやスイーツ、カレンダーなど、横浜美術館開館 30 周年の節目となるような書籍やスペシャルグッズを制作中です。

■ 関連資料展示

約 11 万冊の図書資料を有する美術情報センターでは、1989 年の開館記念展を振り返る「ポスター、チラシ、チケットで振り返る横浜美術館開館記念展」を行います。

お問合せ先 *本日は 17 時まで在席しております。

横浜美術館	【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】	横浜市西区みなとみらい 3-4-1	Tel 045-221-0300(代表)
経営管理グループ	グループ長	古賀	Tel 045-221-0307
広報・渉外チーム	広報担当	水谷、藤井、一色、梅澤	Tel 045-221-0319

2019年3月26日

横浜美術館は 2019 年 11 月に開館 30 周年を迎えます 横浜美術館開館 30 周年記念事業のご案内



撮影：笠木靖之

1989年（平成元年）に開館した横浜美術館は、2019年11月3日（日・祝）に30周年を迎えます。みなとみらい21地区最初の恒久施設として誕生した当館は、国際的な港町、横浜にふさわしい美術館として、発展し続けるみなとみらいの街とともに歩んでまいりました。

開館時より「みる」「つくる」「まなぶ」の基本方針を掲げ、展覧会のみならず、本格的な造形活動を行うアトリエ、約11万冊の蔵書を持つ美術情報センター、カフェやショップなど、さまざまな接点から当館を訪れるすべての皆さまにとって「開かれた美術館」であることを目指して活動しています。

開館30周年を迎える2019年度の活動テーマは「美術でつなぐ人とみらい」です。

3つの企画展や国際シンポジウムや独創的な記念書籍の刊行、市民の皆さまに制作に関わっていただいたワインやカレンダーなどの記念商品の販売、関連資料展示など、年間を通じ、開館30周年記念事業に全館で取り組みます。

当館が皆さまにとって、作品や人、またかけがえのない経験との「出会いの場」となるよう、活動してまいります。

■ 開館 30 周年記念ロゴ



30周年記念ロゴは、開館当初からの横浜美術館のロゴをデザインした、アートディレクターの浅葉克己氏（浅葉デザイン室）によるものです。「30」の文字に、横浜美術館の基本方針「みる」「つくる」「まなぶ」を示した赤・緑・青の3色が配されています。

企画展

2019年度は開館30周年企画展として、3つの展覧会を開催します。展覧会を通して見えてくるテーマは「コレクション」です。横浜美術館の所蔵する珠玉のコレクション、横浜を代表する実業家の築いた伝説の大コレクション、そして芸術国家フランスを代表する美術館のコレクション。美術館を支える柱である「コレクション（収蔵品）」を、さまざまな形でご覧いただきます。

また今年度、展覧会開催中の金曜日・土曜日は、展覧会、ミュージアムショップ、カフェ（Café 小倉山）の営業を20時まで延長します。多様化する生活者のライフスタイルに対応し、より多くの方に「美術館のある生活」を楽しんでいただけることとなりました。お仕事帰りに、お食事のあとに、美術館でひとときをお過ごしください。

横浜美術館開館30周年記念 Meet the Collection —アートと人と、美術館 2019年4月13日（土）～6月23日（日）



1万2千点を超えるバラエティ豊かな横浜美術館のコレクションの中から、「LIFE: 生命のいとなみ」「WORLD: 世界のかたち」の2部構成のもと、絵画、彫刻、版画、写真、映像、工芸など300点を超える作品を展示します。

また、4人のアーティスト[東芋、浅井裕介、今津景、菅木志雄]をゲスト・アーティストとして招き、彼らの作品を収蔵作品と並べることで作品同士の出会い（Meet）の場を創出し、アートの自由な見方、アートとの多様な関わり方を提案します。

主催：横浜美術館、神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）

田中 敦子 《作品67E》1967（昭和42）年 エナメル、カンヴァス、162.5×131.0cm 横浜美術館蔵
©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

横浜美術館開館30周年記念 生誕150年・没後80年記念 原三溪の美術 伝説の大コレクション 2019年7月13日（土）～9月1日（日）



原三溪（慶応4～昭和14年）は、横浜において生糸貿易や製糸業などで財をなした実業家です。一方で三溪は、独自の歴史観にもとづき古美術品を収集したコレクターであり、自由闊達な茶の境地を拓いた数寄者、古建築を移築して三溪園を作庭し自らも書画・漢詩をよくしたアーティスト、そして、同時代の有望な美術家を積極的に支援し育んだパトロンでもありました。

本展は三溪の4つの側面「コレクター」「茶人」「アーティスト」「パトロン」に焦点を当て、今日、国宝や重要文化財に指定される名品25件以上を含む三溪旧蔵の美術品や茶道具約150件と関連資料を展覧することによって、原三溪の文化人としての全体像を描きだします。

主催：横浜美術館、日本経済新聞社

【国宝】《孔雀明王像》平安時代後期（12世紀） 絹本着色・一幅 147.9×98.9cm 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives *展示期間：2019年7月13日（土）～8月7日（水）

横浜美術館開館 30 周年記念**オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した 12 人の画家たち****2019 年 9 月 21 日 (土) ~2020 年 1 月 13 日 (月・祝)**

パリのセーヌ川岸に建つ、オレンジ温室を改修した瀟洒な佇まいのオランジュリー美術館。画商ポール・ギョームが基礎を築いた同館所蔵の印象派とエコール・ド・パリの作品群は、ルノワールの傑作《ピアノを弾く少女たち》をはじめ、マティス、ピカソ、モディリアーニらによる名作がそろったヨーロッパ屈指の絵画コレクションです。本展は同館が所蔵する 146 点の絵画群のうち 13 人の画家による約 70 点が、21 年ぶりにまとまって来日する貴重な機会です。コレクションに秘められた物語とともに、世界中の人々に愛され続ける名品の数々をご堪能ください。

主催：横浜美術館、オルセー・オランジュリー美術館、読売新聞社

オーギュスト・ルノワール《ピアノを弾く少女たち》1892 年頃 油彩・カンヴァス 116×81cm
© RMN-Grand Palais (musée de l'Orangerie) / Franck Raux / distributed by AMF**■ シンポジウム・イベント**

海外の美術館関係者を招聘し、専門家を対象とした国際シンポジウムを 6 月に開催します。
また、開館記念日を迎える 11 月上旬には、市民の方々が気軽に参加できるイベントを実施する予定です。

横浜美術館開館 30 周年記念国際シンポジウム**アートでつなぐ人とみらい - 美術館は何のため？そして誰のため？****2019 年 6 月 8 日 (土)**

横浜美術館が開館した 1989 年（平成元年）は、日本がバブル景気に湧き、横浜市では市制 100 周年と横浜港開港 130 周年を記念して「宇宙と子供たち」（21 世紀への展望）をテーマに博覧会「YES '89」が開催された年です。当時の日本は経済偏重から脱し、文化大国になることを目指して、美術館建設がブームとなっていました。

それから 30 年。少子高齢化の進む社会の変容は文化への希求、そして美術館活動に対する期待にも変化をもたらしています。美術館は何のため、そして誰のために存続するのか？これからも美術館は必要とされるのか？これから変わるであろう市民社会を見据えて、美術館はどのように対応していくべきなのか？

この国際シンポジウムでは、横浜美術館が 2021 年度に閉館し、改修を経て 2023 年度にリニューアルオープンすることを視野に入れ、これらの問いについて検討します。

【開催概要】

日時 2019 年 6 月 8 日 (土) 14:00-17:00

場所 横浜美術館レクチャーホール

参加費 無料

定員 220 名 (要申込、先着順)

申込方法 横浜美術館ウェブサイト申込フォームより *4 月 12 日 (金) 10 時より申込受付開始

【登壇者】

ティモシー・ラブ | Timothy Rub [アメリカ]

フィラデルフィア美術館館長兼 CEO

アロン・シーター | Aaron Seeto [インドネシア]

ミュージアム MACAN (Modern and Contemporary Art in Nusantara) 館長

高橋瑞木 [香港]

センター・フォー・ヘリテージ・アーツ・アンド・テキスタイル (CHAT) 共同ディレクター

逢坂恵理子 [日本]

横浜美術館館長

【プログラム】 *日英同時通訳

14:00-14:45

基調講演

「美術館は何のため？そして誰のもの？これまでとこれから」 ティモシー・ラブ

15:00-17:00

パネルディスカッション

「アートでつなぐ人とみらいー美術館は何のため？そして誰のため？」

1. 問題提起

逢坂恵理子

2. 事例紹介「インドネシアの場合」

アロン・シーター

3. 事例紹介「香港の場合」

高橋瑞木

4. 討論 「美術館は何のため？そして誰のため？」

ティモシー・ラブ/アロン・シーター/高橋瑞木 司会：逢坂恵理子

5. 質疑応答/総括

横浜美術館開館 30 周年記念国際シンポジウム関連事業

ラウンドテーブル アートでつなぐ人とみらいー次世代の美術館を考える (専門家向け)

2019 年 6 月 9 日 (日)

本シンポジウムを契機に、未来に美術館をつなぐために今考えるべきことについて、美術館のリニューアル経験者など現場で働く人による「ラウンドテーブル」を実施し、「次世代」をキーワードに美術館の未来について意見交換を行います。

日時 2019 年 6 月 9 日 (日) 10:30-12:30

場所 横浜美術館円形フォーラム

参加費 無料

対象 美術館関係者、専門家、学生、行政担当者など

定員 30 名

*一般募集はいたしません。

■ 記念企画商品

横浜美術館開館 30 周年の節目を彩る書籍やグッズを制作中です。

ユニークな構成の記念書籍には、美術館を取り巻くさまざまな分野の方々に参加いただきました。また、当館のコレクション作品をあしらったスペシャルグッズには、ご自宅でもアートを身近に感じ、コレクション作品に親しんでいただきたいという思いが込められています。ワインやカレンダーの作品選定のプロセスには、市民の皆さまにもご協力いただきました。

記念書籍『横浜美術館 30 周年記念 美術でつなぐ人とみらい』

この記念書籍は、さまざまな情報をあつめたデータブックではなく、事実を参照しつつも、個人の記憶から過去を探り出し、そして想像力や構想力で美術館の未来の可能性を描くことを目指しています。

この試みには、小説家、建築史家、美学者、劇作家、写真家、情報学研究者、美術家、建築家、演出家といった、異なる分野で活躍する方々が参加しています。

横浜みなとみらい 21 という土地、丹下健三による当館の建築、コレクション・展覧会・教育普及・美術情報センター・横浜トリエンナーレといった多角的な活動について、個性豊かな寄稿者が独自の視点から、小説、座談会、エッセイ、写真などを通じて、過去を読み解き、未来を見通しています。

この本を手にとった皆様が、当館の新しい魅力を見出して下さり、社会と美術館との豊かなつながりが波紋のように広がっていくことを願っています。



書影イメージ

【書籍概要】

寄稿者	朝吹真理子、五十嵐太郎、伊藤亜紗、円城塔、岡田利規、鈴木理策、ドミニク・チェン、奈良美智、西沢立衛、平田オリザ、森村泰昌 (50 音順)
出版社	河出書房新社
定価	2,200 円 (税別)
体裁	B5 版・上製 (コデックス装)、128 ページ
ISBN	978-4-309-25634-4

【販売】

予約販売開始	2019 年 4 月 12 日 (金)
予約受付	横浜美術館ミュージアムショップ
発売日	2019 年 10 月 30 日 (水)
販売場所	横浜美術館ミュージアムショップ、全国書店

【出版記念トークイベント】

日時	2019 年 11 月 3 日 (日・祝) 14:00-15:30
場所	横浜美術館レクチャーホール
登壇者	森村泰昌

*詳細は横浜美術館ウェブサイトにて、10 月上旬にご案内いたします。

横浜美術館×大沢ワインズ 横浜美術館開館 30 周年記念ワイン

開館 30 周年を記念して、横浜美術館コレクションをラベルに用いたワインを発売します。
白ワインには、横浜美術館コレクションの中でも特に多くの人に愛されている作品のひとつ、ルネ・マグリットの《王様の美術館》。そして赤ワインには、横浜美術館コレクションを未来へ繋ぐサポーター「コレクション・フレンズ」メンバーの投票により、長谷川潔の《狐と葡萄（ラ・フォンテーヌ寓話）》が選ばれました。
横浜美術館開館 30 周年の 1 年間だけお求めいただける特別なワインは、贈り物や、大切な日のための 1 本としてもお薦めです。芳醇な味わいを、ぜひお楽しみください。

**【商品概要】**

白ワイン／ソーヴィニヨン・ブラン 2015 年 定価 3,000 円（税別）

爽やかでリッチな味わいのソーヴィニヨンブラン種の白ワイン。

みずみずしいフルーティ感を持ち、すっきりとした後味と程よい酸が魅力です。

赤ワイン／ピノ・ノワール 2014 年 定価 3,500 円（税別）

赤い果実の風味があふれるピノノワール種のエレガントな赤ワイン。

柔らかく心地の良いタンニンによるしなやかな口あたり。バランスの良い味わい。

【販売】

発売日 2019 年 4 月 12 日（金）

販売場所 店頭販売 横浜美術館ミュージアムショップ

通信販売 大沢ワインズオンラインショップ <http://www.osawawines.jp/>

この企画のコラボレーション・パートナーは、ニュージーランドに広大なワイナリーを持つ大沢ワインズです。豊かな自然に恵まれたニュージーランドで、「安全で美味しいワイン造りは、最高のぶどうを作る事から始まる」という理念で造り出されたワインは、欧州をはじめ各地のアワードを受賞しており、注目されています。

*大沢ワインズは自然環境の保護に厳しいニュージーランド・ワイン生産者協会が制定したガイドラインによる、SWNG (Sustainable Winegrowing New Zealand) 認証を取得しており、未来の自然環境を守る高品質なワインとして認められています。

横浜美術館開館 30 周年記念 限定焼菓子詰め合わせ

開館 30 周年を記念した、特別パッケージのお菓子を本年度限定販売します。
人気のアンリ・シャルパンティエの焼き菓子を、横浜美術館コレクションの中でも人気が高いルネ・マグリット《王様の美術館》のデザインパッケージに収めました。
一口サイズの 8 種のカラフルな焼き菓子は、お土産にぴったりです。贈る相手を選ばない美味しいお菓子は、開館 30 周年記念オリジナルペーパーバッグに入れてお渡します。

**【商品概要】**

横浜美術館開館 30 周年記念 限定焼菓子詰め合わせ

定価 900 円（税別）

【販売】

発売日 2019 年 4 月 12 日（金） *売切れ次第終了

販売場所 横浜美術館ミュージアムショップ

*オンラインショップを含む通信販売は行いません。

横浜美術館開館 30 周年記念 オリジナルカレンダー

横浜美術館コレクション作品をたっぷり掲載した 2020 年カレンダーを制作中です。

本カレンダーに掲載する作品の一部は、2018 年夏「2020 年カレンダー コレクション選抜総選挙」と題して行った、掲載候補作品 41 点からの人気投票により選ばれました。約 1 週間にわたり行われた投票には「横浜美術館コレクション展」入場者の皆さまから 2,400 人以上の方々のご参加くださいました。カレンダーには、集計結果から各分野上位作品などが掲載されます。

2020 年は横浜美術館珠玉のコレクションカレンダーで、日常にアートを感じる毎日はいかがでしょう。市民の皆さまが選んだ、お気に入り作品が掲載されたカレンダーをぜひチェックしてください。

*詳細は決定次第ウェブサイトにて発表

【商品概要】

横浜美術館開館 30 周年記念
2020 年オリジナルカレンダー（仮称）
定価 未定

【販売】

発売日 2019 年秋（予定）
販売場所 横浜美術館ミュージアムショップ

■ 関連資料展示

開館 30 周年記念特別資料展示 ポスター、チラシ、チケットで振り返る横浜美術館開館記念展

1989 年に開館した横浜美術館では、開館記念展として「メトロポリタン美術館名品展—フランス美術 500 年」や「ニューヨーク・ニューアート チェースマンハッタン銀行コレクション展」のほか「鏑木清方展」などを開催し、開館年の企画展来館者数は延べ 86 万人以上に上りました。横浜初の本格美術館誕生に多くの期待と関心が寄せられたことが窺えます。

美術情報センターでは展覧会のカタログやポスターやチラシなど、当館の活動に関する資料も保管されており、アーカイブ的な機能も担っています。本展示では開館記念展のポスターやチラシなどをご覧ください。

【開催概要】

会期 2019 年 3 月 29 日（金）～7 月 10 日（水）（予定）
会場 美術情報センター
入場料 無料

■ プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当
水谷英智、藤井聡子、一色あずさ、梅澤のど佳
Tel.045-221-0319 | Fax.045-221-0317
E-mail pr-yoma@yaf.or.jp

■ 横浜美術館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

220-0012
横浜市西区みなとみらい 3-4-1
Tel.045-221-0300 | Fax.045-221-0317
<https://yokohama.art.museum/>

*本プレスリリースに掲載の情報は 2019 年 3 月 26 日時点の情報です。詳細は変更となる場合がございます。